

紙

須藤風汰

紙は

うすっぺらで

しおらしく

でもときに

鋭い

そいつは

刃物でできたペンのように

僕の指に線を引いた

その鋭さが

僕の手をふるわせ

僕の心をふるわせる

ふるえる手で

そいつを握ってみた

くしゃり

……

紙はまた

ただの紙に戻った